

2022

obachanchi



2022年度 総会報告号

特定非営利活動法人 ふれあいの家ーおばちゃんち  
 140-0001 品川区北品川 2-28-19 品川宿交流館 3F  
 Tel. & Fax : 03-3471-8610 E-mail : fureai@obachanchi.org  
 http://obachanchi.org/ 発行日 : 2022.07.01

- 2021年度定期総会が下記の通り開催され、第1号から第5号までの案件が採択されました事をご報告します。
- I 日 時 2022年5月29日(日) 14:30から17:00
  - II 場 所 中小企業センター 及び オンライン
  - III 出席者数 正会員43名中43名(内、委任状出席15名、議決権行使1名)
  - IV 審議事項
    - 第1号議案 2021年度 活動報告について
    - 第2号議案 2021年度 決算について
    - 第3号議案 2022年度 活動方針(案)について
    - 第4号議案 2022年度 役員体制(案)について
    - 第5号議案 2022年度 予算(案)について



2021年度活動報告

- \*創設以来変わらないおばちゃんちのビジョン・ミッションを基本にしつつ、今年度も新型コロナと共に過ごす1年となった。コロナ禍2年目ということもあり、対応方法の積み重ねができてきてはいたが、その都度の新たな状況、情報に翻弄されることもあり、判断が難しい場面もあった。なにより感染拡大をさせないこと、子ども、利用者、そしてスタッフの安全、命を守ることを意識した1年だった。
- \*預かり保育は短時間、原則食事なし、少人数の預かりを基本に、感染状況により対応を工夫した。冒険ひろば事業は、緊急事態宣言時期は区の判断で2週間程休園としたが、その後は縮小しながら再開し、子ども、親子の大事な地域の居場所として、そして野外で安心して遊べる場としての役割を担った。他の事業でもコロナ禍だからこそ必要な場づくりをできる限り行ってきた。
- \*子育て世帯や地域で活動する人達が、心豊かに暮らせるよう、求められていることは何かを考えてはきたが、新規事業などの積極的な取り組みは難しかった。
- \*組織としては対面での会議を減らし、テレワーク可能な仕組みづくりとして、IT活用を進めてきた。イベントなどが次々と中止・延期となる中、他団体とのつながりは難しい面もあったが、オンラインも取り入れながら子育てにまつわる課題の共通認識は確認しあうことができた。
- \*このような状況でも、「子どもの最善の利益」を最優先に、SDGs、特に貧困、環境、多様性理解につながるものを意識してきた1年だった。

I 2021年活動

【組織基盤】

1. 財政

- ・昨年度からの赤字を極力押さえつつ、コロナ禍でのスタッフの給与と補償を行いながら出費を抑える努力をしてきたが、今年度も赤字決算となり、繰越金を運用することになった。
- ・品川区からの委託費、補助金が減額されることなく継続して運営でき、品川区との協働関係を進める努力をした。
- ・委託費、補助金に頼りすぎない財政を意識してきたが、具体的手立ては取れなかった。
- ・冒険ひろば担当理事を複数人とし、4年後の委託先変更を見据えて、一事業部としてかかる経費を明確にしていけるよう努力し、支払い規則の改定や雇用契約書の見直しなどを進めた。

2 人材

- ・組織基盤整備として、各事業の次世代リーダー、スタッフの発掘、育成に努めた。保育のスタッフ、サポーターは引退するスタッフがあり、次世代へと必然的に引き継がれていっ

た。冒険ひろばでは、若手次世代スタッフが活躍している。

- ・各個人の持ち味を発揮できるよう、多様な働き方を柔軟に受け入れられる環境整備を行った。また、リスクの高い長距離の通勤を減らしたり、個々の事情によって在宅ワークを可能とすることで、働きやすくなるよう取り組んだ。

3 IT化推進

- ・つながりのある専門領域の方の協力を得ながら、コロナ禍でも安心してスムーズにコミュニケーションが取れるIT化を推進し、オンラインでの会議、打ち合わせ、講座開催ができるように取り組んだ。
- ・セキュリティ体制を万全に整えながら、事務局の在宅ワークと事務所勤務がバランスよくスムーズにできるように、書類、資料のクラウド化を進め、事務所内IT環境の整備を進めた。

【ネットワークを活かした事業の分担と連携・協力】

1 事業分担と連携

- ・他団体との信頼関係に基づくネットワークと連携、多角的な事業の展開に努めたが、コロナ禍で十分にはできなかった。し

<p>かし、子育てメッセを機に新たなつながりを作ることはできた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中で、「求められているもの、やりたいこと」の声に耳を傾け、この事態の中でこそ必要なことは何かを探って事業展開を考えた。おばちゃんちができることはネットワークも活かしながらかつ実行し、おばちゃんちが主体となれないものは、おばちゃんちができることで連携、協力していくことに努めたが、十分にはできなかった。</li> <li>子ネット、ひろば交流、子育てメッセ、子若ネット、協働ネット、しな木ネット、子ども食堂ネット、文化活動のネット(にじっこコンサート、あそびうたフェスティバル、ふれあいこどもまつり等)、児童虐待防止推進のネット等のつながりを活かしながらかの事業展開はコロナ禍で難しい面もあったが、オンラインを活用しながらできることを続けてきた。大がかりなイベントは中止にせざるを得ないものが多かったが関係は切れないうよう努めてきた。</li> <li>おばちゃんちが活動する各地域(北品川、中延、南大井、八潮)での、協働する個人・団体との地域のまちづくりの活動は、共に行うイベントがほとんどなく難しかったが、ニュースレターや冒険ひろばだよりを届け続けるなど近況報告は滞ることなく行うことができた。</li> <li>コロナ禍では課題解決にサポートが必要な団体、グループからの要請を受け、パートナーとしてサポートすることは、多くはなかったが、できることは互いに助け合うことができた。</li> <li>様々な立場や年代の人が信頼関係が繋がり、仲間となつて、子育てにやさしいまちづくりを共にすすめるように、個人とグループ・団体、グループ・団体間を繋ぐコーディネーターの役割を、できることで行ってきた。</li> <li>品川区との信頼関係、協働関係を深めるよう努めたが、委託だけでなく共催事業の展開は探れなかった。</li> </ul>	<p>を工夫して少人数で開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④ なんくるないさ〜(独自事業)未実施</li> <li>⑤ 北浜こども冒険ひろば(品川区管理運営業務委託事業)遊び環境を整備しつつ多様な子どもの居場所になった。</li> <li>⑥ しながわこども冒険ひろば(品川区管理運営業務委託事業)密にならない遊び分散の工夫。工作・焚火を再開。</li> <li>⑦ ほっと・サロン@八潮にじっこ(品川区社会福祉協議会助成事業)密を避け時には2部屋利用。利用者減少したが有意義な場づくりとなった</li> <li>⑧ 忍者修業の旅(協働事業・礎会、品川こども劇場)未実施</li> </ul> <p>2 あずかり広場 &lt;困った時はおたがいさま&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 品川宿おばちゃんちほっぺ(品川区助成事業)利用制限継続、預かりなしの日もスタッフ配置。保育士不足</li> <li>② 「昭和通りおばちゃんち」わっこ(品川区助成事業)利用制限継続、おもちゃ消毒に要時間。利用者も理解協力</li> <li>③ 派遣保育「えくぼ」(独自事業)子育てメッセ、NPの保育を実施。久しぶりの保育に戸惑いあり。交流遠足実施</li> </ul> <p>3 まなびあい広場 &lt;みんなていきいき、子育て、自分育て&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 子育てサポーター養成講座(独自事業)未実施 内部研修</li> <li>② 「完璧な親なんていない」親支援講座(NP講座)(品川区管理運営業務委託事業)少人数で開催。フォローアップはコロナが拡大したためオンラインでの開催</li> <li>③ 小学生保護者支援講座(独自事業)未実施</li> <li>④ 外あそびわくわく(こどもへのまなざし)(独自事業)オンライン2回実施</li> <li>⑤ 相談事業「えがお」(品川区助成事業)随時対応</li> <li>⑥ ら〜ん・ういず(独自事業)ほほ未実施</li> <li>⑦ 広場事業担当者交流会(ひろば交流会)(独自事業)年3回実施、区の子育て情報誌別冊作成に協力</li> </ul>
<p>2 情報集約、有効な発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で、実際に出会うことが減った保護者が、子育てに関わる情報を得やすくできるよう、団体・グループ活動情報を集約したものの発信として、子ネット・子育てひろばの交流会でのつながりから、協力して品川区の発行で「子育てひろば特集号」を作ることができた。</li> <li>子育てメッセのオンライン開催により、当日参加できなかった人にも情報を届け続けたという成果を踏まえて、実行委員会、品川区と協力し、集約された情報を子育てメッセが年間を通して開設しているHPで、発信した。</li> </ul>	<p>4 つながりあい広場&lt;点から線へ、そして面へのネットワーク&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ニュースレター発行他広報(独自事業)NL3回発行SNS活用</li> <li>② 各種ネットワーク参加</li> <li>* 子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワークINしながわ(子ネット)オンラインで2回開催</li> <li>* (一社)子ども若者応援ネットワーク品川団体参加</li> <li>* 協働ネットワークしながわ:解散</li> <li>* 品川子育てメッセ 共催(品川子育てメッセ実行委員会・品川区)オンライン開催</li> <li>* 児童虐待防止推進事業(品川子育てメッセ内)(協働事業)未実施</li> </ul> <p>5 きかくの広場 &lt;智恵と工夫を持ち寄ろう&gt; 企画なし</p>
<p>II. 組織運営</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>各事業の自立的運営と相互の連携の確立に努めてきた。</li> <li>事務局事務の明確化と共に簡素化、効率化に努めた。繁忙期には多少混乱することもあった。</li> </ol>	<p>IV 行政、地域、他団体とのネットワーク</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>共催・協働事業</li> </ol>
<p>III. 事業の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ふれあい広場 &lt;つどい、くつろぎ、元気がでる&gt;</li> <li>① ホットほっとHOT(独自事業)区の補助金を活用3回実施</li> <li>② みこちゃんち(独自事業)毎週月曜日 13時～15時、人数制限をしながら開催</li> <li>③ しょうちゃんち(独自事業)毎週月曜日 13時～15時、フロア</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①にじっこコンサート &lt;にじっこコンサート実行委員会&gt; 中止</li> <li>②あそびうたフェスティバル&lt;あそびうたフェスティバル実行委員会&gt; 中止</li> <li>③子ども・若者応援セミナー &lt;子ども若者応援ネットワーク&gt; 高橋聡美さん講演会、自殺予防セミナー実施協力</li> <li>④ふれあいこどもまつり&lt;ふれあいこどもまつり実行委員会&gt;中止</li> </ul>

**2021年度決算**

財政状況等については、以下のサイトに掲載、公開中。  
 NPO法人データベース NPOヒロバ <http://www.npo-hiroba.or.jp/search/zoom.php?pk=22104>  
 東京都生活文化局NPO法人ポータルサイト法人団体情報詳細  
[https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/houjin/npo\\_houjin/list/ledger/0090996.html](https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/houjin/npo_houjin/list/ledger/0090996.html)

## 2022年度活動方針

\*おばちゃんちは設立20年となった。新型コロナウイルスの感染拡大防止に引き続き努めながら、児童虐待のないまちを願ひ、「子どもの笑顔を真ん中に、心豊かに暮らせるまちづくり」をすすめる。そして、「あたたかな風」が品川のまちに吹き続けるよう、「できることを、できる人が、楽しく」、「ふれあい、あずかり、まなびあい、つながりあい」活動を変ることなく行っていく。

\*コロナ禍で2年に渡り、事業縮小、休止を余儀なくされ、収束に向かう道筋はまだなかなか見えないが、引き続きさまざまな世代の方々、内外で活動する人達も、ふれあいを持って心豊かに暮らせるよう、今求められていることは何かを考え、新規事業も含めてできることは実行に移していく。

\*持続可能なおばちゃんちを目指し中期的な展望を持ちながら、組織基盤整備、財政の健全化、有効なIT活用を進め、他団体と連携しながら各事業を行っていく。

\*「子どもの権利条約」日本批准から27年が経ち、その精神にのっとり「東京都子ども基本条例」が昨春成立、続いて国の「子ども基本法」の審議が始まった。「子どもの最善の利益」を最優先に、「子どもの権利」を尊重するまちづくりを進めていく。またSDGs、特に貧困（経験の貧困も含む）、環境、多様性理解につながるものを意識し、SDGsを理解する機会を作っていく。

### I. 2022年度活動

#### 【組織基盤整備】

##### 1 財政

- ・2年連続して赤字決算となり、繰越金を運用してきたが、赤字を最低限に抑えられるように工夫をする共に、コロナ後の中期的な見通しを持って管理費、各事業費を見直し、財政の健全化に努める。
- ・継続的な運営ができるよう品川区との協働関係を進めながら、委託費、補助金に頼りすぎない財政を意識する。

##### 2 人材

- ・各事業の次世代リーダー、スタッフの発掘、育成に一層努め、徐々に次世代に引き継いでいく。
- ・互いに理解し合い、多様な働き方ができるように工夫をしていく。

##### 3 IT化推進

- ・会議や講演会、講座等がオンラインやハイブリッドでも開催できるよう、スキルアップを行う。
- ・事務局の在宅ワークと事務所勤務がバランスよくスムーズにできるように、さらにIT環境を整備する。
- ・PCセキュリティ対策を更に強め、システム管理者を置く。

#### 【ネットワークを活かした事業の分担と連携・協力】

##### 1 事業分担と連携

- ・他団体・グループ、行政、企業、個人との信頼関係に基づくネットワークと連携を活かし、さらに多角的に事業が展開できるように努める。
- ・「求められているもの、やりたいこと」の声を傾け、できることはネットワークを活かし実行し、おばちゃんちが主体となれないものは、おばちゃんちができることで連携、協力していく。
- ・様々な立場・年代の人が信頼関係でつながる仲間となって、まちづくりを共に進められるように、課題解決に助けが必要な場合にサポートし合えるよう、おばちゃんちも含めて個人とグループ・団体、グループ・団体間をつなぐコーディネーターの役割を担う。
- ・子ネット、ひろば交流、子育てメッセ、子若ネット品川、しな木ネット、子ども食堂ネット、「しな活」(区内活動団体ガイドブック)団体、文化活動のネットワーク(「じっこコンサート、あそびうたフェスティバル、ふれあい子どもまつり等」、児童虐待防止推進のネットワーク等のつながりを活かして事業を行い、株々

な課題を解決していくことに努める。

- ・おばちゃんちが活動する各地域(北品川、中延、南大井、八潮)で理解し合い、協働する個人・団体との関係を広め深め、その地域のまちづくりを進める。
- ・品川区との信頼関係、協働関係を深め、委託だけでなく共催事業の展開を探る。

##### 2 情報集約、有効な発信

- ・ホームページの見直しを行う。
- ・品川区の子育てに関わる情報が得やすくなるよう、団体・グループ活動情報を集約し発信する仕組みを、子育てメッセでの取り組みや他の団体の実績との関連も考慮し、協力し合いながら整えていく。

### II. 組織運営

#### 1 各事業の自立的運営と相互の連携体制の確立

#### 2 事務局事務の明確化

- ・事務作業の明確化と共に簡素化、効率化に努めるとともに、在宅ワークの環境整備を進め、情報のクラウド化、オンライン会議などをさらに進めていく。

### III. 事業の実施

#### 1 ふれあい広場 <つどい、くつろぎ、元気がでる>

##### ① ホットぽっとHOT(独自事業)

区の子育て支援事業助成金を活用して、おもちゃコンサルタントを招き、毎月の実施を目指す。

##### ② みこちゃんち(独自事業)

誰もがふらりと立ち寄り、コロナ禍でも安心して過ごせる場づくりを心掛ける。様子を見ながら広報活動にも力を入れる。

##### ③ しょうちゃんち(独自事業)

子どもに合った遊び環境を大切に、ふれあい遊びを実施。母親を尊重しながら心地の良い交流の場づくりを心掛ける。

##### ④ なんくるないさ〜(独自事業)

コロナ対応、事務所体制などから、実施は難しい状況。

##### ⑤ 北浜子ども冒険ひろば(品川区管理運営業務委託事業)

三密を避けながら、子どもの遊ぶ権利を大切に事業実施。スタッフ会議でよりよい実践の模索を行っていく。

##### ⑥ しながわ子ども冒険ひろば(品川区管理運営業務委託事業)

子どもも大人も知恵を出し合う仲間として遊び探求。大型遊具、区と連携し、来園者とも一緒に考える。

\*冒険ひろば共通:NPO法人そとぼーよ、他の外遊び・冒険あ

そび推進団体と協働し、第3、4の冒険ひろばが区内西部にできるよう努める。事業委託の移行も見据える。

- ⑦ ほっと・サロン@八潮にじっこ(品川区社会福祉協議会助成事業) 柔軟に対応しながら継続開催。児童センター、冒険ひろばと連携した告知。イベントの再開も視野に入れていく。
- ⑧ 忍者修業の旅 (協働事業(礎会、品川こども劇場))  
新型コロナ状況を見ながら判断、可能ならば実施する。

## 2 あずかり広場 <困った時はおたがいきさま>

- ① 「品川宿おばちゃんち」ほっぺ(品川区助成事業) コロナ禍でもスタッフも利用者も安心できるよう、無理なく実施していく。また、保育士スタッフが増えるよう声かけ。多世代交流、子育てひろばの充実を視野に入れ、品川宿おばちゃんちの再移転先として、『預かり、親子ひろば、カフェ』の三つのエリアを持つような空き店舗も引き続き探していく。

- ② 「昭和通りおばちゃんち」わっこ(品川区助成事業) 子どももスタッフも安心して過ごせる場づくり。状況見極め食事などへの対応を考える。

\* ほっぺ、わっこ共通

預かり保育のニーズの変化や今後の動向を読みながら中期展望を探る。

- ③ 派遣保育「えくぼ」(独自事業) 保育の環境整備。全員で全員の子どもを見ることを意識した保育を目指す。サポーターの交流を増やす。連絡会開催していく。

## 3 まなびあい広場 <みんなでいきいき、子育て、自分育て>

- ① 子育てサポーター養成講座(独自事業)  
全10回、20名定員、対面で開催。支援者向け公開講座(森田圭子さん)

- ② 「完璧な親なんていない」親支援講座(NP講座)(品川区管理運営委託事業) 人数を減らし、感染対策を整えながら開催する。

- ③ 小学生保護者支援講座(独自事業)  
まずはNP開催を目指し、余力があれば検討していく。

- ④ ともあそびわくわく(こどもへのまなざし)講座(独自事業)  
プレイワーカーが増えたので、講座のやり方を考える。周知方法などより効果的にできるよう考慮する。

- ⑤ 相談事業「えがお」(品川区助成事業)  
コロナ禍での悩みも意識し随時相談を受けていく。利用者の最善の利益のため情報共有、連携に努める。

- ⑥ ら〜ん・ういず(独自事業)  
個人、団体をつなげる。おばちゃんちの精神と重なる個人、団体が増えていくように発信していく。

- ⑦ 広場事業担当者交流会(ひろば交流会)(独自事業)  
1学期に1回開催。コロナ禍で役割増したひろば事業間の交流を続け、ひろばの存在、意義を伝えていく。

## 4 つながりあい広場<点から線へ、そして面へのネットワーク>

- ① ニュースレター発行他広報(独自事業) 誰に届けるのかを意識する。わかりやすい発信に心がける。

- ② 各種ネットワーク参加  
\* 子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワークINしながわ(子ネット) 事務局担当 団体紹介サイトの立ち上げ、メールツールを再開させる。学ぶ様々な講座を協力開催できる

よう模索。

- \* (一社)子ども若者応援ネットワーク品川(団体参加)運営委員会への参加。子ども周辺情報、課題を共有し、セミナー、講座開催に協力。

- \* 品川子育てメッセ<共催 品川子育てメッセ実行委員会・品川区> これまでのやり方を総括。思い切った方向転換。サイズダウンした、ひろば軸のメッセ企画検討。

- \* 児童虐待防止推進事業(品川子育てメッセ内)<協働:ウーヴ、品川こども劇場、しながわチャイルドライン>オンライン開催も視野に入れて、検討していく。

## 5 きかくの広場 <智恵と工夫を持ち寄ろう>

おばちゃんち内外の声をよく聞き、やるべきことのできるものがあれば始めていく。

- \* 今の状況で可能な方法を、今期後期に20周年事業を実施する。

目的:おばちゃんちの原点の再確認と今後に向けた発信。おばちゃんち界隈の方々と共に。

事業案:講演会等の開催、記念グッズ作成、取り組みの報告を兼ねた冊子の作成

## IV 行政、地域、他団体とのネットワーク

### 1 共催・協働事業

- ① にじっこコンサート<にじっこコンサート実行委員会>小規模での開催を検討中。

- ② あそびうたフェスティバル(あそびうたフェスティバル実行委員会)2023年2月23日(木祝)荏原文化センター大ホール

- ③ 子ども・若者応援セミナー<子ども若者応援ネットワーク>講座、セミナー開催の協力

- ④ ふれあいこどもまつり<ふれあいこどもまつり実行委員会>開催される場合は、実行委員会に参加し、主に「あそびのひろば」の運営に協力する。

※代表理事、副代表理事は、総会后以下の通り互選された。

代表理事 幾島博子  
副代表理事 岩崎みつ子  
副代表理事 小栗崇資

今年の定期総会は、3年ぶりの会場開催となりました。試行錯誤の上、『来場型』と『オンライン型』の同時開催で行い、オンラインでは6名の正会員の方が参加していただきました。両方の準備が必要だったため慣れない作業もありましたが、同時開催に詳しい理事やスタッフを中心に準備を行ったため、大きな配信トラブルもなく無事終わることができました。来年こそは、みんなで顔を合わせて話し合い、その後の懇親会も開催できたらと思います。また総会后には、おばちゃんち20周年事業についての意見交換が行われました。具体的なところまでは決めきれなかったのですが、これから企画委員会をつくり、今年の冬には形になるものができたらと思います。

### 2022年度 役員

【理事】 环祐美、幾島博子(代表)、岩崎みつ子(副代表)、犬塚尚樹、小栗崇資(副代表)、片山享子、今野良子、椎名裕子、武田寛美、土屋順子、土屋美恵子、堀込由美子、宮里和則  
【監事】 城後弥生、八神尚美

---

ふれあいの家ーおばちゃんち 2022総会報告号

---

著 obachanchi

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---